

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(全体)

事業所名	ピー・ター・パン
住所	松江市邑生町662-1
電話番号	(0852) 34-9734

事業所番号	3210100529
管理者名	佐藤靖夫
対象年度	令和6年度

(I) 労働時間	
①1日の平均労働時間が7時間以上	
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満	
⑧1日の平均労働時間が2時間未満	
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点	65点

(IV) 支援力向上(※)	
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	
参加した職員が1人以上参加している	○
②研修、学会等又は学会誌等において発表	
1回以上の場合	○
③視察・実習の実施又は受け入れ	
いずれか一方のみの取組を行っている	○
④販路拡大の商談会等への参加	
1回以上の場合	○
⑤職員の人事評価制度	
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○
⑥ピアサポートの配置	
ピアサポートを職員として配置している	
⑦第三者評価	
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものとの認証を受けている	
小計(注2)	5
(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点	15点

(II) 生産活動	
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上	
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満	
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満	
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点	60点

(V) 地域連携活動	
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○

1事例以上ある場合:10点

(III) 多様な働き方(※)	
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	
就業規則等で定めている	
②利用者を職員として登用する制度	
就業規則等で定めている	○
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
就業規則等で定めている	○
④フレックスタイム制に係る労働条件	
就業規則等で定めている	
⑤短時間勤務に係る労働条件	
就業規則等で定めている	○
⑥時差出勤制度に係る労働条件	
就業規則等で定めている	○
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	
就業規則等で定めている	○
⑧傷病休暇等の取得に関する事項	
就業規則等で定めている	○
小計(注1)	6
(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点	15点

(VI) 経営改善計画	
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○

期限内に提出していない場合:-50点

(VII) 利用者の知識・能力向上	
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○

1事例以上ある場合:10点

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点



合計
175点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績 I～IV、VI）

(I) 労働時間

前年度（R5 年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	16,430.75	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,003	人	利用者の1日の平均労働時間数	5.47	時間
-----------------------------	-----------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

(II) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々年度（H29 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	28,096,714	円	利用者に支払った賃金総額	27,757,829	円	収支	338,885	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

前々年度（R4 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	18,669,739	円	利用者に支払った賃金総額	18,615,454	円	収支	54,285	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------	---

前年度（R5 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	16,948,911	円	利用者に支払った賃金総額	15,551,766	円	収支	1,397,145	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(III) 多様な働き方

前年度（R5 年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受験勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受験勧奨に関する制度を定めている	<input type="checkbox"/>
------------------------------	--------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	<input type="checkbox"/>
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	<input type="checkbox"/>
----------------------	--------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-----------------------	-------------------------------------

(IV) 支援力向上

前年度（R5 年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
--------------	-------------------------------------

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	<input checked="" type="checkbox"/>
-----------------------------	-------------------------------------

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施しているもしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input checked="" type="checkbox"/>
--	-------------------------------------

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している	<input checked="" type="checkbox"/>
---------------------------	-------------------------------------

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------	-------------------------------------

⑥ピアソーターの配置

◎ピアソーターを配置している	<input type="checkbox"/>
----------------	--------------------------

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>
----------------------------------	--------------------------

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	<input type="checkbox"/>
------------------------------	--------------------------

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	<input type="checkbox"/>
---------------------------------------	--------------------------

(VI) 経営改善計画

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ピー・ター・パン
住 所	島根県松江市邑生町662-1
電話番号	(0852)34-9734

事業所番号	3210100529
管理者名	佐藤靖夫
対象年度	令和 6 年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

【活動場所】2023-2024 シーズン島根スサノオマジックホーム試合会場
 【実施日程】令和5年10月～令和6年4月
 【活動内容】スサノオ選手似顔絵グッズの製作と委託販売
 【参加人数】6名

<活動の様子>



<目的>

地元プロバスケットボールチームのオフィシャルグッズを手掛けることで業務スキルの向上と就労意欲の拡大・売上向上を目的とする

<成果>

スサノオグッズ担当2年目 定番商品のデザイン作成については昨年の経験が生きて製作スピードと精度が向上している。販売ルールが非常に厳しいため、制作物に制限がかかり自身の努力が実らないケースがあった。悔しい思いはあったはずだが、仕事の厳しさと責任感を実感し、我慢しながらでも次に向かう姿勢を身に付けていくことができた

連携先の企業等の意見または評価

今シーズンは申請して頂いた商品案を、販売戦略の都合上却下させて頂いたケースもありました。そのような中でも新商品のランチバッグも販売して頂きファンの皆様からも好評を得れた。引き続きピー・ター・パンさんらしさのある商品を販売していく様に頑張って頂きたい

連携先企業名	株式会社バンダイナムコ島根スサノオマジック	担当者名	事業開発部 烏田 慧
--------	-----------------------	------	------------

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ピー・ター・パン
住 所	島根県松江市邑生町662-1
電話番号	(0852)34-9734

事業所番号	3210100529
管理者名	佐藤靖夫
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要	
<活動内容>	<活動の様子>
実施 ピー・ター・パン	
実施日程 令和5年9月21日	
実施の概要 働くを通して社会の中での役割を考える	
利用者数 15名参加	
講師 日本コーチ協会 山陰チャプター/副代表 赤井寿美	
<目的>	
役割を持って働くことで、責任感・自尊心などを身に付けていけるようにするため	
<成果>	
社会の中で必要とされながら生きていくための役割をもつことの重要性を改めて確認でき、意識改革に繋げれた	<p>本日の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アイスブレーク 2. わたしたちの仕事とは 3. どこからお金をもらうの 4. 人と自分の違いをみとめる

連携先の企業や事業所等の意見または評価	
企業 障害をお持ちの方々でも、働くことを通して役割や自分の目標が明確であるほど、責任感を高め、自分の仕事に対する理解と取り組みやすさを促進します。その結果として、モチベーションが向上します	
事業所 引き続き自身の能力を発揮しやすく、主体性を持って働いていただけるよう環境づくりが必要である	

連携先企業（担当者）	日本コーチ協会 山陰チャプター/副代表 赤井寿美
------------	--------------------------

利用者からの意見・評価	
「みんなはたらく」ということをみんなで考え、一人一人は考え方も感じ方も違い、目標も働き方も違う中でどれだけ仲間を思いやり、認め合えるかということを改めて感じた勉強会でした。	